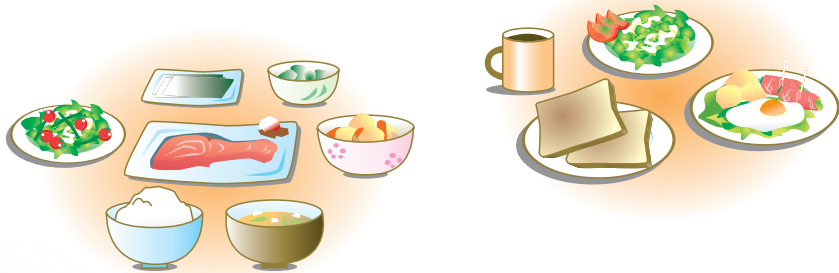


複合毒性の心配はないのか

Q?



残留農薬基準があるとしても、残留がまったくゼロではないでしょ。私たちは、いろいろなモノを食べているのだから、複数の農薬が混ざった時に悪い影響がでるんじゃないの。



A!



一つ一つの農薬のADIを守ったとしても多種類の農薬が体内に入ってくれば、複合的に作用して予期しない毒性を発現する可能性が考えられます。これは一般的に複合毒性と呼ばれています。

この複合毒性について心配する声をよく聞きますが、実際に、全ての農薬の組み合わせについて試験をするのは困難です。しかし、今まで行われた試験は数が少ないものの、複合毒性を肯定するような結果は報告されていません。



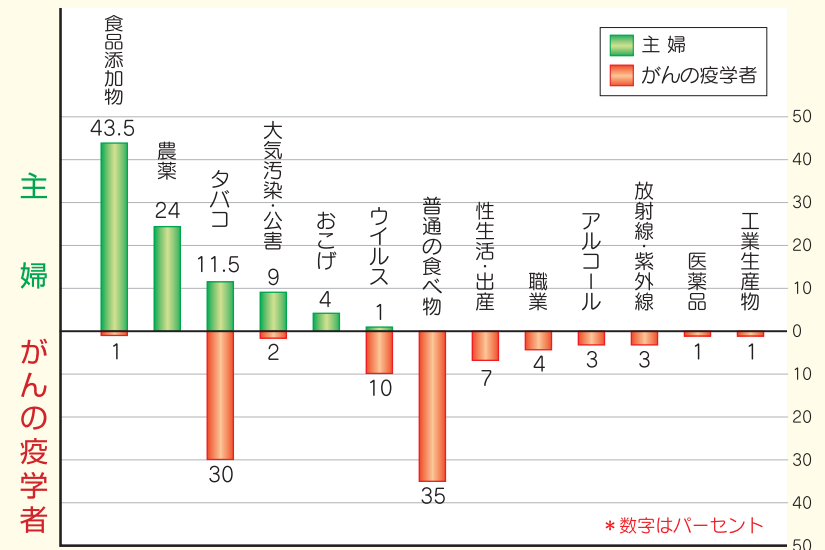
複合毒性は農薬だけの問題ではないわ。添加物や天然の化学物質との組み合わせもあるし、何が作用するかわからないのよ。そういった危険性もあるのだから農薬は避けた方がいいのよ。

そういう考え方もあります。



ワンポイント ● がんの原因についての主婦とがんの疫学者の考え方の違い

がんの原因については、一般消費者(主婦)と、がんの疫学者とで考え方が違うといわれています。がんの疫学者は、日常の食事と喫煙が主な原因であり、農薬からの寄与はほとんどないと考えています。



出典:黒木登志夫「暮らしの手帖3世紀25号」(1990年4、5月号)

用語解説

●疫学… どのような集団が疾病にかかるのかを統計的に分析することにより、その疾病発生の原因を追及し、疾病発生の予防を図る学問をいいます。